

令和4年度 青森県産業技術センター畜産研究所 和牛改良技術部 あんない



青森県の基幹種雄牛



第1花国



忠光安



春待白清



広清

(地独) 青森県産業技術センター 畜産研究所 和牛改良技術部
〒038-2816 青森県つがる市森田町森田月見野558
電話0173-26-3153 FAX0173-26-3205
<http://www.aomori-itc.or.jp/index.php?id=1182>



あおもりの未来、技術でサポート

業務の概要

種雄牛の検定・選抜部門

● 種雄牛の繋養



パドックで草をはむ第1花国



直接検定合格牛の立ち運動



種雄牛の引き出し



若雄の調教

● 種雄牛の検定



種雄牛(待機牛)の体尺



直接検定牛の体尺

凍結精液製造部門

● 精液採取、活力検査、販売供給



種雄牛からの採精



精子の活力検査



精液ストローと精子検査器具



液体窒素(−196℃)中の凍結精液

繁殖部門

● 優良繁殖牛の放牧管理、種雄候補牛の生産



親子放牧



連動スタンションでの給餌



誕生直後の子牛

試験研究等

● ゲノム育種価解析による優良種畜の生産に関する試験研究開発（R1～）

● 全国和牛能力共進会鹿児島大会対策推進事業（R2～4：県重点事業）

沿 革

昭和39年	4月	青森県畜産指導所創設（肉牛、乳牛、豚）
昭和53年	5月	本県独自方式による和牛種雄牛産肉能力直接検定開始
昭和62年	4月	畜産指導所及び養鶏指導所を統合し、畜産試験場森田支場に改組（肉畜科、養鶏科）
昭和62年	6月	乳牛部門を廃止
昭和62年	12月	和牛種雄牛産肉能力間接検定開始
昭和63年	6月	全和方式による和牛種雄牛産肉能力直接検定開始
平成 4年	6月	兵庫県等からの種雄牛導入開始（～平成7年度 計10頭）
平成 7年	4月	畜産基地建設事業着工（～平成10年3月竣工）
平成 8年	3月	養豚部門を廃止
平成10年	3月	「雪国」号を本県初の基幹種雄牛に指定 （平成11年度「第1花国」及び「福安」、12年度「照神12」、14年度「国栄97」 20年度「第2花国」、23年度「優福栄」、24年度「光茂」、26年度「平安平」 29年度「春待白清」、30年度「広清」、令和2年度「忠光安」 3年度「幸紀花」及び「寿優福」）
平成13年	4月	畜産試験場和牛改良技術センターに改称し、養鶏科を廃止
平成15年	4月	青森県農林総合研究センター畜産試験場和牛改良技術センターに改組
平成21年	4月	地方独立行政法人青森県産業技術センター畜産研究所和牛改良技術部に改組

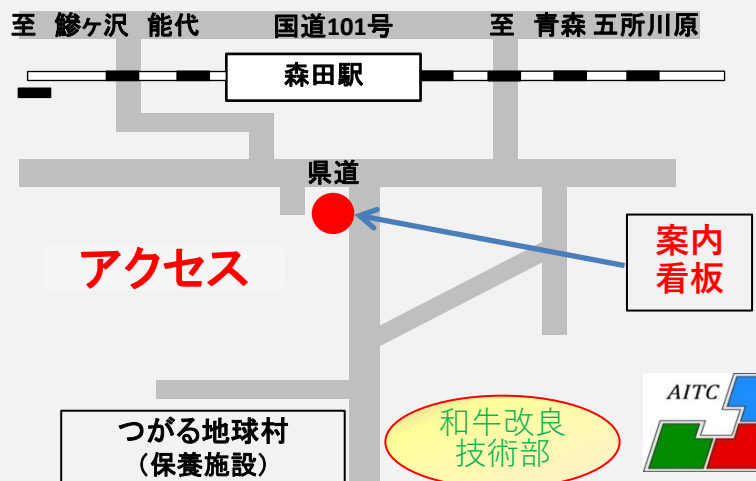
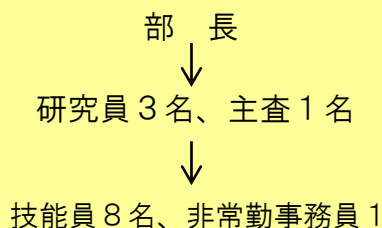
土地区分

区分	面積
建物敷地	4. 2 ha
放牧地・採草地	2 6. 1
山林・原野等	5. 8
計	3 6. 1

肉牛飼養頭数(R4.2.1)

区分	頭数	備考
基幹種雄牛	3	忠光安、広清、春待白清
後代検定待機牛	1 5	能力検定中の種雄牛
直接検定牛	2 0	種雄牛候補
繁殖雌牛	4 1	あおはな系主体
育成・子牛	3 2	
肥育ほか	2 9	後代検定調査牛
計	1 4 0	

組織体制



和牛改良技術部

